



ひなどい

第12号

令和8年3月10日
新潟市立新津第三幼稚園だより

【教育目標】

なかよく せいっぱい
遊ぶ子ども



体を動かして遊び、心を育む

園長 大矢 晃子

少しずつ春の訪れを感じる頃となりました。もうすぐ子どもたちは進学、進級を迎えます。園では今年度、研修テーマを「やりたい遊びに取り組み、自分に自信をもつ子ども」とし、日々の遊びの中で、特に体を動かす活動を通して、子どもたちを育んできました。年度当初、職員で子どもたちの様子を語り合う中で、運動面において手や足の体の使い方や多様な動きをどのように身に付けていけばよいのか、という課題があげられました。この課題をもとに、各年齢、または一人一人の発達に合わせ、体を動かす経験を意図的に遊びに取り入れてきました。すると、少しずつ子どもたちの体の動かし方がスムーズになり、運動面の向上や、あきらめないで挑戦しようとするなどの心の成長がみられるようになりました。私たちは、この取組を通し、運動の技術的な向上を目的とするよりも、子どもが「体を動かすことって楽しい！」と実体験することが大切であり、それを実現できる教師の環境づくりや援助があったからこそ、結果的に運動能力の向上につながっていくということがわかりました。

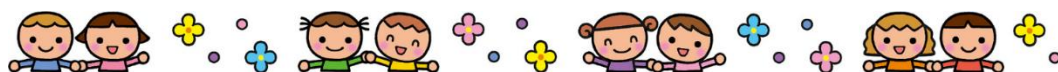
2月に開催された、ミラノコルティナ冬季オリンピックをテレビなどで見た年長組の子どもたちは、すぐに遊びに取り入れ、自分たちのオリンピックを楽しんでいました。このように子どもの興味・関心に添った遊びを園で経験した子どもたちは、小学校でも自分の力を発揮できると信じています。



年長あやめ組の保育室では、スキージャンプやスノーボード競技が開催されていました。選手も採点係もいます。メダルも手作りしました。

子どもが運動を好きになるには、「できる」「できない」ではなく、「楽しそう」「やってみよう」という気持ち大切です。自分のペースで挑戦できる活動は、子どもの挑戦してみようとする意欲を引き出し、多様な動きの獲得にもつながったことを実感しています。また、友達のよさを認め、励まし合う姿も見られ、友達とのかかわりにおいても成長を感じます。この取組は、来年度も引き続き行っていきます。保護者の皆様には、お子さんの成長を実感していただけるよう、さらに具体的にお伝えしていきたいと考えています。

今年度も、園の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



2月13日 年中もも組 生活発表会

劇遊び
「くすのきだんちの楽しい一日」



くすのきは6階建ての団地。
5階と6階には誰も住んでい
なかったのですが…さあ大
変！誰かやってきましたよ。

「あ～よかった」「みんなでおいしい
アップルパイを食べましょう～」

2月18日
年少たんぼ組 満3歳いちご組
生活発表会

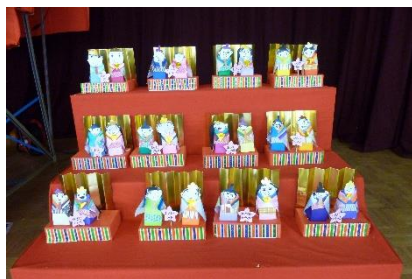
劇遊び
「どうぶつもりの
かくれんぼ」



どうぶつもりの
みんなは、かく
れんぼが大好き。何かを見つ
けて引っ張って
みると……



3月3日 ひなまつり



3月3日はひな祭りをしました。それぞれがいろ
いろな材料を使って、おひなさまを作って、遊戯
室に飾りました。「こうやって作ったんだよ」と
工夫したことなどを伝え合う姿もありました。

